

平和の本質に迫る、白熱の4ラウンド!

「ある晴れた夏の朝」

原作：小手鞠 るい「ある晴れた夏の朝」(偕成社刊)

脚本・演出：北村 直樹 (人形芝居ひつじのカンパニー)



美術：乗峯雅寛
照明：若狭慶大
音楽・音響：内田アダチ
音響操作：白濱惇
衣装：木場絵理香
宣伝美術：伊藤祐基
イラスト：タムラフキコ
写真：服部義安
映像：山内崇裕
写真出典元：Wikipedia
時事通信フォト



これは、原爆を落とした側であるアメリカの高校生8人が「原爆について考える」作品です。原爆の是非を討論するディベート大会を企画して、チームに分かれて調査検討を重ね、意見を交わし合う高校生の姿は、とてもエネルギッシュで清々しさを感じます。高校生一人一人が主体的に戦争と平和について考え、葛藤しながら自分の意見を主張し、意見が違う相手をたたえ尊重しあう姿に胸が熱くなります。1945年8月6日、人類が人類の上に落とした原爆。アメリカ人の視点、日本人の視点、アジアの人々の視点、ユダヤ人の視点など多様な視点を持つ登場人物と一緒に、“なぜ戦争はなくなるのか”をとことん考え抜きましょう!

作品ページ



劇団うりんこは、学校など様々な場所で、表現活動のためのワークショップを多く手がける演劇と教育のエキスパートです。ワークショップの参加者は、人と関わることの喜びや、演じることの楽しさ、自分のアイデアやイメージを表現することの楽しさを体験していきます。子どもも大人も、イキイキと輝いていきます。

TEL.052-772-1882 FAX.052-771-7868

〒465-0018 名古屋市中東区八前 1-112

[E-mail] info@urinko.jp

[URL] http://www.urinko.jp